

学長のコラムコロナに負けない教育体制づくり

2021年の幕開けを迎えた。今年は、将来に向けての様々な基盤整備の年と位置づけている。まず、2022年度からの理学療法学専攻の入学定員増に向けての施設整備である。定員増に対応するために講義室と実習室の整備を進めることになる。次に、老朽化した動物実験施設の改修が控えている。大学にとって研究力の強化と研究環境の整備は欠かせない。また、現在整備中の旧レストラン跡地は2月に改修が終了し、新しいキャンパステラスとアカデミックスキルラボ（4月からはアカデミックスキル支援センター）に生まれ変わる。教育効果の向上を期待したい。教育体制の整備という観点からは、指定規則の改正に伴い、医学検査学科および看護学科で、2022年度入学者からのカリキュラム改訂に向けて準備をすすめることとなる。加えて10月には、本学主催の国際集会として、五大学連携の国際シンポジウムが控えている。

この様なプロジェクトに水をさすのが新型コロナウイルスの感染拡大である。国内では昨年秋から第3波を迎え、その勢いは止まる所を知らない。ワクチン接種の準備が進められているが、変異ウイルスの出現もあり、先行きは不透明である。今年になって国内の累積感染者数は30万人を超え、熊本県でも3,000人に達した。連日4,000～7,000人の新規感染者が発生し、一日の死亡者が100人を超える日も珍しくなくなった。医療体制は崩壊に近づいている。1月7日には、東京、神奈川、埼玉、千葉の首都圏4都県に緊急事態宣言が発令され、13日になって、栃木、岐阜、愛知、京都、大阪、兵庫、福岡の7府県が対象に追加された。翌14日には、熊本県でも独自の緊急事態宣言が発令された。因みに熊本県では感染状況ステージの6指標のうち5つの指標が「ステージ4」（爆発的感染拡大）に該当している。一方で、昨年春の1回目の緊急事態宣言発令時とは異なり、全ての活動を自粛するのではなく、飲食業の営業時間短縮、公共施設の閉館時間短縮や主催イベントの中止・延期などが中心で、学校の一斉休校などの教育現場への強い措置は要請されていない。

本学も新型コロナ感染と無縁ではなくなったが、学内での感染は確認されておらず、危機対策本部の対応やコロナ対策WGの対策マニュアルが功を奏していると考えている。今後も、感染防止対策を徹底し、独自のPCR検査を十分に活用しながら、感染拡大を乗り越えて行きたい。教育体制についても、ウィズ・コロナ時代に即した一時しのぎではない新しい体制の工夫が必要である。その上で、冒頭に掲げた種々のプロジェクトを、教職員の皆様と一丸となって粛々と進めていきたい。



寒さに負けない！我が家の椿は例年同様、真っ赤な花を咲かせている。

2月・3月の主な行事予定

2/4(木)	学部入試（一般選抜）
2/9(火)	看護学科キャリア教育セミナー（～2/10）
2/17(水)	ハラスメント防止研修会
2/19(金)	第5回国際シンポジウム（大邱）
2/26(金)	看護学科臨地実習合同会議
2/27(土)	大学院入試（一般選抜、社会人選抜Ⅱ期）
3/5(金)	学部入試（共通テスト利用選抜【後期】）
3/12(金)	卒業式・修了式（予定）
3/17(水)	银杏学園理事会・評議員会
3/19(金)	学内研究助成・研究成果報告会（予定）
3/31(水)	辞令交付式

令和2年度 永年勤続者

学園永年勤続表彰者をご紹介します。

◆勤続20年	看護学科 企画・人事課	准教授	山口 裕子 江崎 里恵
◆勤続10年	リハ学科 ST 専攻 リハ学科 PT 専攻 共通教育センター 看護学科 看護学科 看護学科 ちいき楽暮 図書館 図書館	教授 教授 教授 講師 講師 講師 准教授 司書 司書	山口 康雄 申 敏哲 東谷 孝一 坂本 淑江 大坪 昌喜 岩村 純子 佐々木千穂 重 美樹子 元田 みちる

『オンライン選書会』開催！

2020年11月16日（月）から2021年1月3日（日）まで『選書ツアー』の代わりに『オンライン選書会』を開催しました。電子ブックは、『Maruzen eBook Library』や『KinoDen』のサイトから直接選書し、冊子体は、個人ポータル『マイライブラリー』からリクエストを受け付けました。直接店舗に向くのではないので、時間の制限もなく自宅からでも選書ができます。また、事前の申し込みも必要ありません。

実施期間は長かったのですが、参加者が少なく、今後は電子ブックの利用案内と同時に開催したいと考えています。また、日ごろから図書館資料のご要望は受け付けております。学内の皆様、学修、研究、教育に必要な図書資料、紙、電子の形態にこだわらず、ご要望を是非お寄せください。（文責：図書館）

国家試験 試験日と合格発表日

国家試験名	試験日	合格発表日
臨床検査技師	2月17日（水）	3月23日（火）
理学・作業療法士	2月21日（日）	
言語聴覚士	2月20日（土）	3月26日（金）
看護師	2月14日（日）	
保健師	2月12日（金）	
助産師	2月11日（木）	

## 地域包括連携医療教育研究センター “ちいき楽暮”

今回から 5 回に分けてちいき楽暮の活動紹介をさせていただくことになりました。第 1 回目は 2 月に予定されている本センターの活動報告会の事前予告になります。今年度の活動報告会は新型コロナウイルス対策のため、オンライン（オンデマンド併用）での開催を予定しています。内容は例年同様の活動報告および、竹熊千晶教授と松本武敏客員教授による「看取り」をテーマにした対談形式の講話を予定しています。今年度、竹熊千晶教授は熊本県民の健康増進活動に顕著な功績を果たした人に贈呈される河津寅雄賞を受賞されました。その記念講演を兼ねて「地域で育ち、地域で暮らし、地域で看取り」と題してこれまでの活動をご紹介いただく予定です。多くの方のご参加をお待ちしています。（文責：ちいき楽暮）



## アカデミックスキル支援センター (1)

昨年 12 月の大学運営協議会でアカデミックスキル支援センターの設置が承認された。今後理事会の承認を経て令和 3 年 4 月 1 日に発足する見込みである。新センターは現在のアカデミックスキルラボをセンターに格上げするもので、センター長と専任教員 1 名を擁し、指導員とともに学生のアカデミックスキル修得の支援に当たる。

場所はすでに旧レストラン跡地に移転することが決まっている。センターが発足する 4 月には同じく移転するキャンパステラスそして既存の図書館とともに学生の主体的な学びを支援する施設が一か所に集約されることになる。

アカデミックスキルラボは 2017 年 4 月に発足したので、ちょうど丸 4 年を経て、センターに昇格することになる。これを機会に本コラムではこれから 3 回にわたりラボ/新センターの活動についてご紹介したい。

アカデミックスキルという文献検索、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッション、さらにはこれらに必要なパソコン技能などが思い浮かぶかもしれない。しかし、最も大切なのは自分の頭で考える力、批判的な読みができる読解力、分析力、論理的に自分の言葉で語ることができる表現力である。ラボ/新センターはまさにこういった力を身に付けるお手伝いをする組織である。（文責：アカデミックスキルラボ長 渡辺雄一）

## 『Lovers』令和 2 年度熊本県青少年育成県民会議表彰を受ける！！

昨年の熊本市青少年善行表彰に次いで、本学のボランティアサークル「Lovers」が令和 2 年度熊本県青少年育成県民会議表彰を受け、部員のリハビリテーション学科生活機能療法学専攻の宮永菜央さんと大塚胡桃さんの 2 名が 11 月 28 日の表彰式に出席しました。

この表彰は、あすの熊本県を担う青少年のボランティア活動やその支援を行っている方々に贈られるものです。

本学の医療ボランティアサークル「Lovers」は、2007 年に難病患者さんとその家族の支援、脳腫瘍・運動・発達障害等の病気を抱える子どもたちの支援を始め、今年で活動 14 年目になります。コロナ渦にあっても、3 密を避け、難病療養中の方々にリモートでのクリスマス演奏会を行うなど、先輩から受け継がれてきた活動を絶やさずに行っており、今回の表彰は活動を継続する部員の誇りになるものとなりました。日頃ボランティア活動でお世話になっている団体や施設・病院の方々、サポートしていただいている大学関係者の皆様方に深く感謝いたします。（文責：Lovers 顧問 看護学科 中村京子）



## 2020 年度国際シンポジウム (大邱開催) 発表者による学内発表会

サイエンスカフェ第 13 回 (「英語力 UP 勉強会 NOW OR NEVER!」第 3 回) ■日時: 1 月 26 日 (火) 18:00~

■演者: 医学検査学科 南部雅美教授 ■場所: Zoom を利用してオンライン開催

■タイトル: Effective Use of Past Papanicolaou Smear in Molecular Biological Test

サイエンスカフェ第 14 回 (「英語力 UP 勉強会 NOW OR NEVER!」第 4 回) ■日時: 2 月 2 日 (火) ①18:00~、②18:30~

■演者①: 看護学科 井上加奈子講師 ■演者②: リハ学科 ST 専攻 児玉成博講師 ■場所: Zoom を利用してオンライン開催

■タイトル①: Effective measurement of vital signs among first year nursing students.

■タイトル②: Voice therapy as a supplement to phonosurgery for unilateral vocal fold paralysis.

サイエンスカフェ第 15 回 (「英語力 UP 勉強会 NOW OR NEVER!」第 5 回) ■日時: 2 月 9 日 (火) ①18:00~、②18:30~

■演者①: リハ学科 ST 専攻 松原慶吾准教授 ■演者②: リハ学科 OT 専攻 山野克明教授 ■場所: Zoom を利用してオンライン開催

■タイトル①: The basics and clinical application of high-resolution manometry

~ The chin-down effect on swallowing pressure in healthy subjects and postoperative esophageal cancer patients ~

■タイトル②: An interview research for clinical ethical issues and solutions in the practice of physical, occupational, and speech therapists ※発表はすべて英語で行われます。Craig Armstrong 本学非常勤講師 (Now or Never 講師) 参加予定。

※各発表会への参加情報 (Zoom の URL、ミーティング ID 等) は学内発表会当日にメールで全学配信いたします。

(文責: 企画・人事課)

## 私の秘話ヒストリー

今回は医学検査学科の登尾 一平 助教に投稿していただきました。

今年の夏は猛暑の中、息子と自転車で地元の遺跡を巡り、近所の山々を探索しました。小学 3 年生の息子は 1 年生の時から夏休みに自由研究をしています。今年は歴史について知りたいと言いだしたのですが、テーマがあまりにも漠然としていたため、まずは地元である鹿児島県出水市の歴史について調べ、遺跡マップを作ることにしました。出水市には県下でも有数の武家屋敷群が残っており、大河ドラマ「篤姫」のロケ地にもなっています。息子と武家屋敷や遺跡を巡るにつれ、出水市は薩州島津家に深く関係していることや近所の山に城跡があること、さらには島津家の墓があることを知り、大変驚きました。息子の自由研究のおかげで、見慣れた近所の景色がどこか特別なものを感じるようになり、歴史を学ぶ醍醐味を実感することができました。来年の夏はどのような経験をさせてもらえるか今から楽しみです。